

★ 特別企画：タイルの魅力と可能性、その未来 ★

対 談

# タイルの魅力と可能性、その未来

◆出席者：吉永美帆子(株Euclid)、酒井真由子(風間タイル)、本田彩貴(有ヤザワ)、齋藤葉(有ヤザワ)、五十嵐絢音(リビエラ株)  
◆オブザーバー：白石普(株Euclid代表)、風間大輔(風間タイル代表)、矢沢保政(有ヤザワ/Double Y代表)  
令和5年9月19日収録 於 リビエラ東京ショールーム

色彩とデザイン、優れた機能性で空間を創造するタイルは、内外装を問わず唯一無二の建材として依然として人気がある。一方で職人不足や技能継承など業界が抱える課題も多く、そうした中で注目されているのが女性の活躍だ。

本稿では、女性タイル職人の方々にお集まり頂き、タイルの魅力と可能性、業界の課題や将来の夢について話して頂いた対談を紹介。業界の未来を展望する。  
(編集部)

依然として職人の世界は男性中心というイメージがありますが、そうした中で女性が新しい風を吹き込むのではないかと。業界の未来を明るく照らすのではないかと、現場で活躍されている女性職人の皆様にお忙しい中、お集まり頂きました。

## 空間のイメージを劇的に変える力がある

——早速ですが、タイル職人になった経緯など教えてくださいませんか

吉永：タイル職人になったキッカケは偶然だったのかなと思います。元々、タイル教室にも通っていたので興味はあって、タイルは焼き物の延長ですし、美大も出ていたので作ることは出来るだろうと思っていました。それで展示会でタイルを焼いて出店していたら、お客さんから「タイ



**吉永 美帆子 (よしなが・みほこ)**  
株式会社 Euclid  
職人歴 10 年目。美大を卒業後に Web デザイナーを経てタイル職人に。タイルのデザインや作成のほか、施工も手掛ける。作品の展覧会も開催。



**本田 彩貴（ほんだ・さき）**

有限会社ヤザワ  
職人歴 5 年目。美大を経て映像制作会社の AD の後にタイル職人に。現在は主に現場に出て、一人前のタイル職人を目指して修行中。



**齋藤 葉（さいとう・よう）**

有限会社ヤザワ  
職人歴 1 年目、美大を卒業後に一般企業の営業職を経てタイル職人に。目下の目標は、一人で現場に出られるような職人になること。

ルって何に使うのかしら。コースター？」と聞かれ、改めて考えてみると、タイルを張る職人がいて、建材として張られているからタイルの空間になるわけだなと。タイルを作って、タイルを張って、空間を作れるようになったら一人前だと思いました。それで、色々調べていたら、親方のホームページに辿り着いたんです。

白石：最初に来た時に「貴方のHPは3年位、更新されていません」って説教されて。それから、どうも職人になりたい。ただ、入ったばかりで現場には連れていけない。タイルを作りたいなら、好きに窯をつかっても良いけど、そのかわりHPを更新して欲しいって話して、考えたら物々交

換ですよ。

吉永：親方のところに入入りするようになって、現場というものを初めて知りました。それで、ついて行けそうな現場があったら一緒に行って良いですかってお願いしたんです。当時の日記を読み返してみると「あわよくば弟子入り」と書いていて、本人に会ってみるまでどうなるか解らないと考えていたんだと思います。

——偶然の巡り合わせのような意外なお話をありがとうございました。本田さんはいかがですか

本田：横須賀に住んでまして、会社のある鎌倉ならば近



**酒井 真由子（さかい・まゆこ）**

風間タイル  
職人歴 5 年目、アパレル業界を経てタイル職人に。前職の経験を活かして女性ならではの視点、コミュニケーション力で現場の課題を解決できないか模索中。



**五十嵐 絢音（いがらし・あやね）**

リビエラ株式会社  
入社 2 年目、大学時代のスペイン滞在でガウディ建築に触れ、タイルに魅力を感じてメーカーに入社。今回の対談では唯一、タイルの専門商社／輸入商社の立場として参加。